

授業科目	*助産学実習Ⅱ(正常逸脱)				単位	3		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	MI31403J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	前田 幸、山田 恵、古賀 玉緒、新郷 朋香、杉浦 絹子							
授業概要	<p>正常から逸脱した対象を受け持ち、助産過程を展開し、実践能力を養う。</p> <p>本科目では正常から逸脱した対象及びその家族を対象に妊娠期から退院後までの継続した助産ケアを通し、対象の状態に応じた個別的なケアを提供するために必要な知識・技術・態度を修得する。</p> <p>また、これらの実践を通し、チームの一員として多職種との連携や協働することの必要性や専門職としての助産師の役割や態度を学修する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	実習要項参照							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	0	0	40	100	その他は実習状況
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20				20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						10	10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)						10	10	
態度(DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			40			10	50	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>標準的なレベルの1～5を達成したうえで、以下のレベルに達成できる。</p> <p>1. 対象のニーズを把握し個別性をふまえて継続的な視点で助産過程を展開できる。</p> <p>2. 対象に必要な保健指導を指導者とともに実施できる。</p>				<p>1. 正常を逸脱した妊娠・分娩・産褥・新生児期の対象の助産診断と援助を説明できる。</p> <p>2. 正常を逸脱した妊娠・分娩・産褥・新生児期の対象の助産過程を指導者とともに展開できる。</p> <p>3. 正常を逸脱した妊娠・分娩・産褥・新生児期の保健指導を説明できる。</p> <p>4. 妊娠・分娩・産褥・新生児期に起こる異常状態を理解し、緊急度や優先度に応じた対応を説明できる。</p> <p>5. NICUにおける看護の実際及び看護職の役割を説明できる。</p>				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	実習オリエンテーション(前田)		予習復習:オリエンテーション内容に関する復習および課題の実施	60
2	実習準備:助産技術演習他(前田・杉浦・古賀・山田・新郷他)		予習復習:実習準備に関する学習	60
3	臨地実習 実習要項参照		予習:受け持ち妊産褥婦に関する学習・看護計画立案他 復習:実践した看護の結果に関する評価考察他	120
4	実習のまとめ(前田・杉浦・古賀・山田・新郷他)		予習:実習のまとめ作成・発表準備	60
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	妊産褥婦と新生児のアセスメントとケアに関する知識と技術を要します。 基礎科目・専門科目・支援科目及び助産学基礎実習で学習したことを復習して実習に臨んで下さい。			
テキスト	助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ 堀内成子他編 医学書院 助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ〔1〕妊娠期 我部山キヨ子他編 医学書院 助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩・産褥期 我部山キヨ子他編 医学書院 助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児期・乳幼児期 石井邦子他編 医学書院			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本産婦人科学会他編・監 産婦人科診療ガイドライン 2020 日本産婦人科学会事務局 病気が見える vol.10 産科 第4版 MEDIC MEDIA 今日の助産 マタニティサイクルの助産診断 第4版 北川真理子他編 南江堂 根拠と事故防止からみた母性看護技術 第3版 石村由利子編 医学書院 エビデンスに基づく助産ガイドラインー妊娠・分娩期・産褥期 2020 一般社団法人日本助産会ガイドライン委員会 日本助産学会 日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく新生児蘇生法テキスト 改訂第4版 細野茂春監 メジカルビュー社 はじめてのNICU看護 宇藤裕子編著 メディカ出版 その他、必要に応じて紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	正常からの逸脱状態にある対象者の病態生理の理解につとめ、心理・社会面も含めた助産ケアについて実習を通して学んでください。 助産学生として倫理的配慮を意識した行動を心掛けましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	評価は、レポート、その他(実習状況、実習取り組み姿勢など)について実習評価表に基づいて行います。実習最終日もしくは実習後に面談を行い、振り返りを行います。 全ての実習が終了後にまとめ発表会にて、学びを共有します。			

